



★ 副部長より部会員のみなさまへ ★



本年度より副部長を仰せつかりました前橋支部の堀越でございます。日頃より当部会の活動にご協力いただきましてありがとうございます。

副部長兼研修委員会の担当役員として、上田研修委員長とともにみなさまの為になる研修会を企画し、開催できるよう努力しておりますので、みなさまの御意見をお聴かせください。

また、来年度は関東トラック協会青年部会研修見学会の当番県となっております。多くの部会員のご協力が必要となりますので、積極的な参加をお願いいたします。

終わりに新たな部会員の加入、活動への参加を心よりお待ちしております。 (副部長 堀越泰毅)

★ 研修委員長より部会員のみなさまへ ★



みなさま、明けましておめでとうございます。本年度より研修委員長を仰せつかりました前橋支部の上田でございます。

右も左もわからないまま半年以上が過ぎましたが、この間に全体研修交流会、青年経営者養成セミナー等を開催し、みなさまの参加、ご協力によって、いずれも盛会裏に終了することができました。誠にありがとうございました。

本年度最後の研修事業として、来る2月14日に前橋さくらホテルにて、新春研修交流会を開催しますので、多くの部会員の参加をお願いいたします。

また、来年度は関東トラック協会青年部会研修見学会の当番県となっており、堀越実行委員長のもと、研修委員会を中心に準備を進めておりますが、みなさまのご協力なくして成し得ない事業です。多くの部会員のご協力をお願いいたします。

お願いばかりで申し訳ございませんが、みなさまが参加しやすく、また為になる研修を企画、開催できるよう努力して参りますので、本年もよろしくをお願いいたします。 (研修委員長 上田 賢)

★ 第59回関東トラック協会事業者大会に参加 ★

- ▶ 開催日 9月11日(木)
- ▶ 場 所 ホテルニューオータニ幕張
- ▶ 参加者 部会長1名(総勢450名)

第59回関東トラック協会事業者大会が、千葉県のホテルニューオータニ幕張において8都県より450名の事業者が参加して盛大に開催されました。

ご来賓に関東運輸局長、千葉県知事、千葉県警察本部長、千葉労働局長をお迎えし、1部にて事業者要望活動を、2部にて担当県（茨城・群馬）による交通事故防止対策に関する意見発表が行われ、当県の意見発表を、弊員が担当いたしました。

群馬県トラック協会の様々な事故防止対策の中でも、導入経費補助と無償配布を含めて会員事業者車両の6割以上に搭載されているドライブレコーダーによる事故防止対策と、青年部会にて行っている群馬県内危険箇所・休憩箇所情報提供サービスについて重点的に発表させていただきました。

25分という限られた発表時間の中でどこまで伝える事ができたか甚だ疑問が残りますが、精一杯務めさせていただきました。
(部会長 佐藤稔也)



★ 第11回（平成26年度第2回）群馬県トラックの森づくり事業に参加 ★

- 開催日 10月19日(日)
- 場所 前橋市嶺公園内群馬県トラックの森
- 参加者 部会員20名（総勢191名）

第11回（平成26年度第2回）群馬県トラックの森づくり事業が前橋市嶺公園にて行われました。

当日は、天候にも恵まれ多くの部会員と会員事業者が集まり、最高の環境で除草作業を行いました。

草木が伸びた中での作業は大変でしたが、同業者と共に汗を掻くことは滅多に経験できることではなく、作業終了後は充実感に満たされ、指導をしていただいた方から感謝の言葉をいただくなど、参加して良かったと思えました。

次回も業界の発展とイメージの向上を図るため、多くの部会員の積極的な参加をお願いいたします。
(太田支部幹事 木村公二)



★ 第5回(一社)群馬県トラック協会青年部会チャリティゴルフコンペを開催 ★

- 開催日 11月2日(日)
- 場所 白水ゴルフ倶楽部
- 参加者 部会員34名（総勢50名）



第5回群馬県トラック協会青年部会チャリティゴルフコンペが白水ゴルフ倶楽部にて開催されました。県トラック協会副会長様をはじめ、開催する北毛エリアの支部長様を筆頭に、東京、茨城、栃木の青年部会役員を含め総勢16名の御来賓をお招きし、盛大に開催されました。

例年、チャリティを行いやすいよう工夫したペナルティールや、一風変わったコンペフラッグ、各支部で地元を象徴する景品を持ち寄り、快晴無風の絶好のコンディションの下、和気あいあいとプレーを楽しみました。

今回、初めての試みとなりましたが、以前お招きいただいた東京、茨城、栃木の仲間にお声掛けし、3県より多数のご参加を賜りましたこと、ここに改めて厚く御礼申し上げます。参加人数も初めて50名を超え、チャリティと部会員同士の懇親という2つの目標を十分に達成する事が出来ました。

次回も様々なアトラクションを企画し準備させていただきますので、みなさまの積極的なご参加を心よりお願い申し上げます。
(部会長 佐藤稔也)



☀ 平成26年度第3回青年経営者養成セミナーを開催 ☀

- ▶ 開催日 10月7日(火)
- ▶ 場 所 群馬県トラック総合会館
- ▶ 参加者 部会員11名

平成26年度第3回青年経営者養成セミナーが「経営管理に必要な計数知識、損益の構造と計数管理」をテーマに、第1回から引き続きご講義いただいております(有)アイムリサーチワークの木村哲也様をお招きし開催されました。

講義では、損益の構造理解のポイントとして、財務3表(決算書)の仕組みを経営側の見方と銀行側の見方について、実際の事例をもとに細かく説明いただきました。

特に①資金繰り表(CF)は、一定の会計期間内にどのように現金・預金が増加したかを示す、②貸借対照表(BS)は決算日時点でどのくらい財産をもち、どのくらい外部から調達したかを示す、③損益計算書(PL)は、一定の会計期間内にどのようにして利益(損失)を挙げたかを示す、を中心にその関連にも触れ、一貫して学べるセミナーでした。

今回のセミナーで計数管理の重要性について改めて学んだことによって、更に理解できたと同時に、より数字に強い経営者にならねばと強く実感いたしました。

(大間々支部幹事 板橋俊介)



☀ 平成26年度第4回青年経営者養成セミナーを開催 ☀

- ▶ 開催日 11月5日(水)
- ▶ 場 所 群馬県トラック総合会館
- ▶ 参加者 部会員12名・部会員外2名

平成26年度第4回青年経営者養成セミナーが「製造業に見る5S活動と運送業の関連」をテーマに開催されました。

今回の講師は(有)アイム・リサーチワークの社員でありながら、製造会社に出向し、現場改善専任コンサルタントとして、活躍されている杉江宏和様に自身の経験をもとに熱心にご講義いただきました。

現在、製造業の現場で実施している「改善」として、大手企業ではISO以上に従業員の意識改革に繋がる5S活動を積極的に取り組んでいるそうです。本来5Sの発祥は、自動車製造業のトヨタ自動車で、その改善事例は参考すべき点多々あり、他業種はもとより全国的、世界的にも広く浸透している活動となっています。

そもそも5Sとは、1S整理（必要でないものと必要であるものを分けて、分類・仕分けする）、2S整頓（誰もがみつけれられて、誰もが判り、誰もが安全で速やかな作業が出来る環境にする）、3S清潔（トイレや機械をきれいにすることで掃除の時間が短くなり、お客が来ても現場を見せられるCM営業でもある）、4S清掃（維持整理することで各自が衛生的に保つようになる）、5S躰（修行・修練・忍耐する）を指し、これらの5Sを行うことで全ての無駄が無くなり、職場の安全性向上や問題点の早期発見化、従業員の資質向上等が図れます。運送業でも同様に行うことができ、今回の内容を日々の業務に活かそうと思いました。

（太田支部幹事 木村公二）



🌍 第19回働くトラック絵画コンクール受賞作品展示会を開催 🌍

- 開催日 11月6日(木)～12月5日(金)
- 場 所 群馬県トラック総合会館
- 参加者 部会員3名

青年部会主催による第19回働くトラック絵画コンクールに会員事業所及び部会員のお子様をはじめ、県内の小学生からの応募された607作品から作品選考会で選ばれた受賞作品56点を群馬県トラック総合会館の2階フロアに展示しました。

子供たちの豊かなデザインや業界で働くお父さんへの思いが込められたメッセージ作品の数々が癒しの空間を作り出し、会議や講習等で会館に訪れた多くの方々に鑑賞していただきました。

来年度も様々な場所で展示会を開催していく予定です。お近くにお出掛けの際はお立ち寄りください。

（大泉支部幹事 井戸口肇）



🌍 関東トラック協会青年部会平成26年度研修見学会に参加 🌍

- 開催日 11月7日(金)
- 場 所 UDトラックス(株)上尾本社工場
- 参加者 部会員10名（総勢103名）

関東トラック協会青年部会平成26年度研修見学会が埼玉県で開催され、UDトラックス(株)上尾本社工場を視察してきました。

UDトラックス(株)は1935年に創業以来、創業者・安達堅造のチャレンジ精神を受け継ぎ、UDの由来であるUniflow-Scavenging Diesel Engine (ユニフロー・スカベンジング・ディーゼルエンジン)にUltimate Dependability (究極の信頼)という価値を付加し、1つの企業理念として継承しています。

視察した上尾工場は、一つのラインで大型車から中型車の様々なオプション車を製造しています。ラインの途中と最後に検査員が配置され、不良箇所を検出すると全ラインがストップする徹底した管理体制のもと、一台一台違う部品を取り付ける作業員の無駄のない動きに驚きました。

新型QUONの試乗体験では、初めて大型のオートマチック車を運転し、居眠り防止システム等を体験し性能の良さを体感することができました。

今回の視察研修で、UDトラックス(株)の現場主義という意識が至るところで感じられ、学んだ事を自社に持ち帰り、お客様の満足できる現場作りに努めて行きたいと思えます。(大間々支部幹事 板橋俊介)



● 東日本大震災被災地視察研修及び復興支援ボランティア活動を実施 ●

- ▶ 開催日 11月15日(土)～16日(日)
- ▶ 場所 宮城県宮城郡七ヶ浜町・福島県相馬市・福島県南相馬市
- ▶ 参加者 部会員16名



			
震災時に全て倒れ、住民が手作業で組み立てた灯籠	急ピッチで進む海岸沿いの堤防の建設作業	相馬市港湾建設事務所の宗像様、矢沢様のご説明を聞く。	震災時、津波で骨組みだけになった相馬市港湾建設事務所
			
震災時のまま補修作業をしていない歩道や花壇	津波で破壊された堤防の復旧状況を説明いただきました。	南相馬市ではガイドの阿部様に震災当時の模様をうかがう。	津波で流されず地域のシンボルとなった奇跡の一本松
			
津波により海側一体の地域が水溜りになった当時の写真	原発セシウム問題で避難を余儀なくされた町に人影はない。	震災当時の街の写真	国道6号の交差点にはバリケードが設置。今も入れない。

❖ 平成26年度第2回(公社)全日本トラック協会青年部会全国代表者協議会に参加 ❖

- 開催日 11月28日(金)
- 場 所 全日本トラック総合会館
- 参加者 部会長1名(総勢52名)

本年度第2回(公社)全日本トラック協会青年部会全国代表者会議が「今こそ団結ひとつの力へあるべき姿をめざして」をテーマに全国47都道府県の代表者が出席し、笠原会長の力強い挨拶にて開会しました。

業務報告の後、第1部グループディスカッションおよび発表では、「人材不足時代に対応した人材活用策について」、「今後の青年部会の取り組みについて」の2テーマを全国各地の代表が8名程度の6班に分かれ活発な意見交換が行われました。

人材活用策については、イメージアップ戦略、賃金上昇のための運賃交渉、女性を雇用できる職場づくり、高齢者の雇用延長などの意見が発表されました。

今後の青年部会の取り組みについては、青年部会の地位や温度差を各県で揃える活動や、ディスカッションに留まらず全国共通の課題を制定すべきとの意見が出され、今後の会議でも継続議論を行うこととなり



ました。

第2部懇親会においては、(公社)全日本トラック協会 星野会長にもご参加いただき、私たちの活動についての御礼と、今後ますますの精進するようご指導を頂戴しました。

「この人が自分のライバルだと思ったら、決算書を見せ合い切磋琢磨しろ」とのお話には激動の時代を生き抜いた経営者の気迫を感じました。

47都道府県の代表が一人も欠ける事無く集まる(公社)全日本トラック協会青年部会の今後の活動に期待すると同時に参加者の一人として身の引き締まる思いを感じました。(部会長 佐藤稔也)

■ 各支部青年部会・第19回働くトラック絵画コンクール展示会及び表彰式を開催 ■

当青年部会主催の第19回働くトラック絵画コンクールでは、第40回ホリデーインまえばしにおける展示会及び表彰式を皮切りに、各支部青年部会においても展示会や表彰式を開催しています。

<p>【前橋支部】 ニコニコパーキング 前橋問屋センター</p>	<p>【桐生支部】 桐生市役所</p>	<p>【館林支部】 館林警察署</p>
		
<p>展示会 10月11日 表彰式 10月18日</p>	<p>表彰式・展示会 10月19日</p>	<p>表彰式・展示会 10月18日</p>
<p>【北毛三支部】 道の駅「こもち」</p>	<p>【県トラック協会】 群馬県トラック総合会館</p>	<p>【ホリデーインまえばし】 前橋市敷島公園</p>
		
<p>展示会 12月12日～1月16日</p>	<p>展示会 11月6日～12月5日</p>	<p>展示会・表彰式 8月24日</p>

■ 館林支部青年部会・交通安全フェスティバルに参加 ■

- 開催日 10月13日(月)
- 場 所 館林市市役所
- 参加者 部会員16名(総勢20名)

当青年部会では、第25回交通安全フェスティバルに参加してまいりました。

この催しは、交通安全運動推進事業の一環として館林警察署管内の関係団体が一堂に会し、広く地域住民に対して交通安全意識の高揚・啓発に努める目的で開催しているイベントです。

このたび、館林支部青年部会では、実際のトラックを使っ
ての死角体験、アルコールチェッカーを使っ
ての点呼体験、リモコントラックを使っ
ての内輪差体験、Gマーク及びグリーン経営認証のポスター類、そして働くトラ
ック絵画展示など、交通安全とトラック業界の取組をPRしてまいりました。天
候がすぐれない中で、80名以上の体験参加者が訪れ活気のある一日となりまし
た。
(副部会長 磯野哲也)



■ 館林支部青年部会・総決起大会に参加して絵画コンクール展示会と表彰式を開催 ■

- 開催日 10月18日(土)
- 場 所 館林警察署
- 参加者 部会員12名(総勢100名)

当支部青年部会では、今年度館林支部で応募のあった12作品の中から県受賞者4名を除き、支部長賞、青年部会長賞、特別賞の受賞者3名を決定し、支部総決起大会において働くトラック絵画コンクール表彰式を行いました。

また、総決起大会が開催された館林警察署内に12作品を展示させていただき、多くの方に観覧していただきました。

本年も多くの方が参加できるよう青年部会として活発に活動していきたいと思いをます。(館林支部幹事 本間美儀男)



■ 桐生支部青年部会・交通安全フェスティバルに参加 ■

- 開催日 10月19日(日)
- 場 所 桐生市市役所
- 参加者 部会員12名(総勢14名)

当支部青年部会では、親会と合同で桐生交通安全フェスティバルへ参加しました。

「見て・体験して・楽しむ・交通安全」をテーマに、働くトラック絵画コンクール展示会並びに表彰式を開催し、県青年部会で選考された受賞者の子供達とご家族を招き、表彰状と記念品の贈呈を行いました

また、トラック協会ブースでは、親会主催である恒例の「高原野菜の無料配布」、「スタンプラリー」を行ったところ、大勢の市民の行列ができて賑わいをみせました。

そのほか、部会員4名が交替で、群馬県警察シンボルマスコットの「上州くん」と「みやまちゃん」になり、たくさんの子供達と握手や記念撮影し親しむことができました。

来年も多くの市民が喜んでいただけるイベントになるよう発展させて行きたいと思います。

(桐生支部幹事 吉田武士)



■ 佐波伊勢崎支部・玉村町産業祭に参加 ■

- ▶ 開催日 11月16日(日)
- ▶ 場所 玉村町役場駐車場
- ▶ 参加者 部会員11名(総勢16名)

支部青年部会では、交通安全啓発活動及び広報活動の一環として、玉村町商工会主唱による玉村町産業祭にブースを出展しました。

当ブースでは、部会員企業や荷主企業から譲り受けたアウトレット商品の即売会や、豪華景品が当たる1回200円の抽選会、前日から仕込みを行い用意した「玉こんにゃく」も完売するほど大盛況となりました。

毎年この活動を行ってきましたが、過去に例のない多くの来場者に対し、目的とした交通安全啓発活動及び社会福祉貢献のアピールが期待以上に出来ました。

なお、当日集まったチャリティ収益金の一部は、12月6日(土)に佐波伊勢崎支部で開催した年末年始交通事故労働災害防止総決起大会において、交通遺児育英基金に充てていただくよう、三浦協会長に寄贈しました。

(佐波伊勢崎支部幹事 橋本 力)



■ 平成26年度下半期活動スケジュール ■

2月14日(土)	平成26年度新春研修交流会	前橋さくらホテル
2月26日(木)	平成26年度(公社)全日本トラック協会青年部会全国大会	京王プラザホテル

* 詳細につきましては、随時、青年部会ウェブページ (<http://www.gta.or.jp/seinen/>) に掲載しています。

■ 新規加入部会員 平成27年1月現在172名 ■



◆ 横堀 歩
(前橋支部 ㈲横堀商事運輸)
宜しくお願いします。



◆ 根本伸一
(前橋支部 ㈱大伸)
宜しくお願いします。



◆ 清水健夫
(前橋支部 群馬急送㈱)
未熟ではありますが、皆様のお役に
たてるよう頑張ります。
宜しくお願いします。 ※敬称略

新規加入部会員募集

群ト協青年部会では新規部会員を随時募集しています。

青年経営者のための研修事業や交流事業、社会貢献事業等の活動を展開していますので、青年部会に興味のある方は、事務局または青年部会幹事までお気軽にご連絡下さい。

みなさまのご参加をお待ちしています。

※入会申込書は青年部会ウェブページよりダウンロード出来ます。

事務局(永井・武井)TEL027-261-0244



お勧めの一冊

「答は現場にあり。」 大畑誠也 著



最近の業界では、人材不足という声をよく耳にします。私のところでも同じ問題を抱えておりドライバーが減少傾向にあります。この事態に我々は、どう向き合っていけば良いのだろうか?と考えていたとき、読んだ本にヒントがあるような感じを受けました。それが、「答は現場にあり。」という本です。「人は常に教育の原点に戻って学ぶ」という意味がたくさん込められている本です。ビジネスの基本はヒューマンネットであるからこそ、成功するのだらうと思ひ、この本には問題解決への光が秘められているような気がしました。
(桐生支部幹事 吉田武士)

大畑誠也：昭和22年熊本県山鹿市に生まれ。昭和47年熊本大学法学部法学科を卒業。同年4月、熊本県立天草農業高等学校(元・苓明高校)社会科教諭として赴任。昭和51年県立大津産業高等学校(現・翔陽高校)へ転任。昭和58年熊本県教育庁高等学校教育課へ異動。平成3年教育庁学校人事課へ配転。平成6年教育庁学校人事課教育審議委員に就任。平成7年県立天草東高等学校長に就任。平成10年県立菊池高等学校長に就任。平成13年県立熊本商業高等学校長、同15年、県立八代高等学校長、同17年、県立第一高等学校長に就任。(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです。)



謹賀新年



旧年中はご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

本年も倍旧のお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。

平成27年 元旦